法人会報
おおだて
2025.12 83号
http://hojinkai.zenkokuhojinkai.or.jp/oodate/

公益社団法人
大館法人会
大館市御成町２−８−14
大館商工会館４Ｆ
TEL(0186)43−3347
FAX(0186)43−4044

ピリッと辛い「冬の味」です

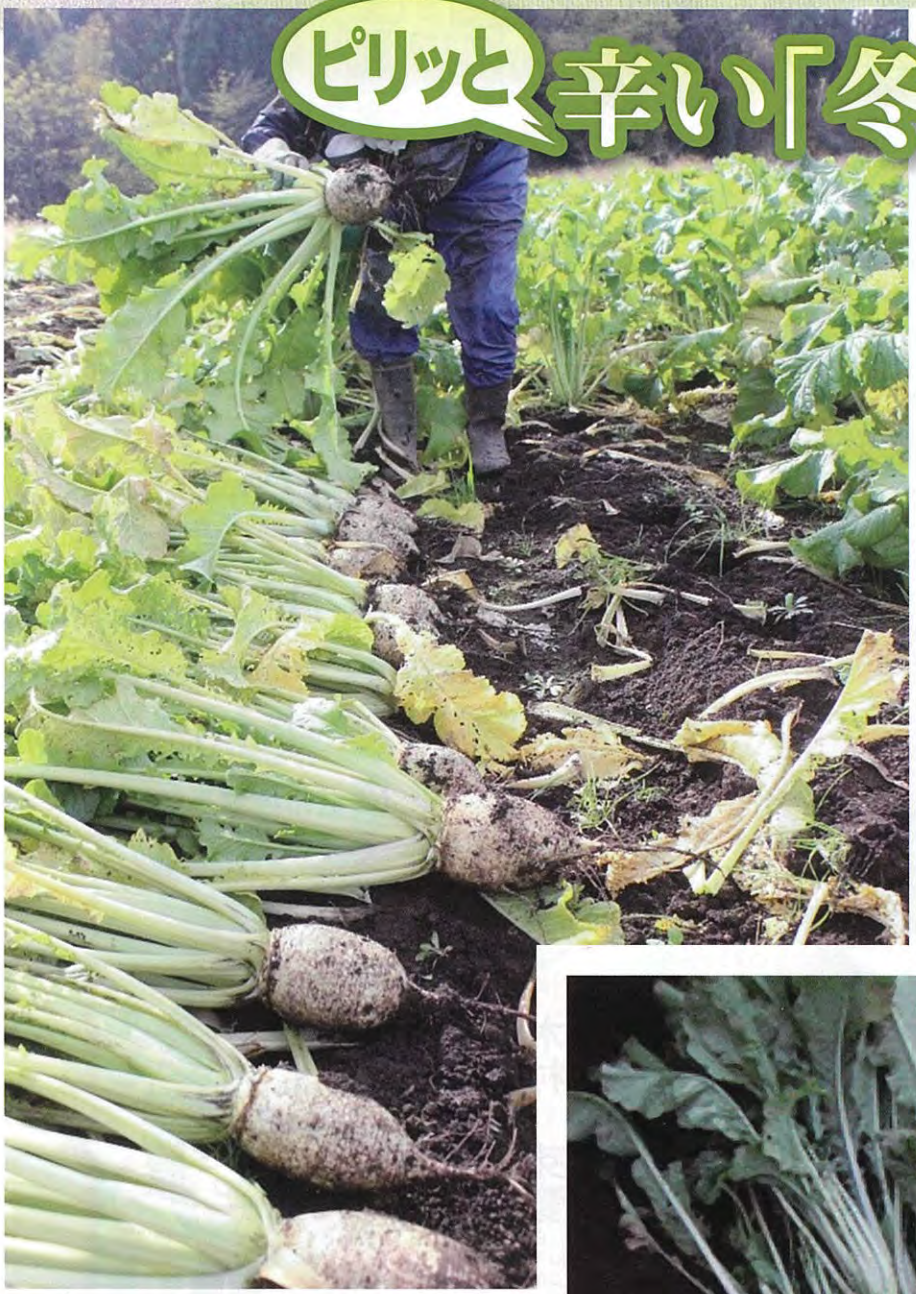
鹿角市八幡平地区

松館しぼり大根

独特の強い辛味で知られる鹿角市八幡平地区の「松館しぼり大根」の収穫が、今年も本格的な降雪期を前に行われました。今年は夏の大雨の影響でやや小ぶりながら、辛みは十分だそうです。

農林水産省の地理的表示（ＧＩ）保護制度に「松館しぼり大根」のブランドで登録されている伝統野菜です。カブに似た形が特徴で、ピリッとした独特の強い辛味の中にもほのかな甘みがあり、地元松館地区の栽培組合が生産を続けています。

すりおろした絞り汁は、良く知られるそばや刺身の薬味のほか、「きりたんぽ」にかけたり「イカしぼり」に使う飲食店もあります。12月まで収穫は続き今年も「冬の味」として親しまれそうです。



鹿角市八幡平地区で生産されている「松館しぼり大根」の収穫作業

カブのような丸い形と強い辛味が特徴で農水省の地理的表示保護制度に登録さています

（写真協力・北鹿新聞社、鹿角市役所）

第18回 税に関する絵はがきコンクール

教室の学びを1枚に

28校の6年生から684点

大館法人会女性部会（小畑良子部会長）主催の「第18回税に関する絵はがきコンクール」審査会が11月17日、大館市の北地区コミュニティセンターで行われました。今回は管内の小学校28校の６年生から684点の応募がありました。審査の結果、最優秀の大館税務署長賞には大館市桂城小学校・渡辺桃加さんの作品が選ばれました。全応募作品は２月から大館、北秋田、鹿角の地区別に展示されるほか、上位入選作品は県の選考会へ送られます。

審査会では会場いっぱいに並べられた作品を、小畑部会長はじめ女性部会のメンバー、對馬亨大館税務署長らが一点一点審査しました。子どもたちが租税教室などで学んだ税の大切さと使いみちを、自分の視点と発想で描き、キャッチコピーやデザイン、色使いの豊かさに審査員は感心していました。

最優秀のほか大館法人会長賞や女性部会長賞の優秀賞、佳作が選ばれ、20点が入選作品となりました。上位の10作品は秋田県法人会連合会女性部会連絡協議会の選考会へ送られます。展示会は２月から、鹿角、大館、鷹ノ巣のいとくショッピングセンターで開かれるほか、入選作品は大館税務署に展示される予定です。

最優秀
大館税務署長賞
渡辺　桃加さん
（大館市桂城小学校）

会場いっぱいに並ぶ作品を一点一点審査する女性部会のメンバーら（11月17日）

優秀
大館法人会長賞
佐藤　美羽さん
（大館市城西小学校）

優秀
大館法人会女性部会長賞
木村　芽愛さん
（大館市釈迦内小学校）

入選 作品紹介

たくさんのご応募ありがとうございました

優秀

山田菜奈香さん
（大館市成章小学校）

米田　沙知さん
（鹿角市柴平小学校）

柳沢　莉花さん
（鹿角市十和田小学校）

阿部愛依咲さん
（鹿角市花輪小学校）

成田　澪さん
（大館市釈迦内小学校）

石川未千花さん
（大館市城南小学校）

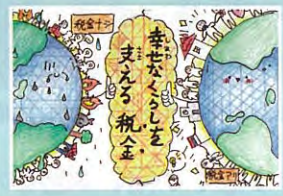
畠山　陽咲さん
（大館市城西小学校）

佳作

田山　蒼唯さん
（大館市城南小学校）

桜庭　来羽さん
（大館市有浦小学校）

田中　佐歩さん
（大館市長木小学校）



岸　輝月さん
（北秋田市鷹巣小学校）

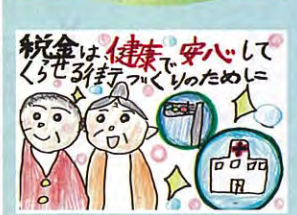
菅原美衣花さん
（北秋田市鷹巣小学校）

松橋　咲季さん
（北秋田市合川小学校）

金山　珠理さん
（鹿角市花輪小学校）

安保　裕介さん
（鹿角市柴平小学校）

笹村　真白さん
（大館市釈迦内小学校）



岸　ののの花さん
（大館市西館小学校）

2月から地区別に展示会

	学校名	応募数	展示会場
鹿角地区	花輪小学校	57	いとく鹿角ショッピングセンター
	柴平小学校	25	
	十和田小学校	40	
	大湯小学校	8	
	尾去沢小学校	20	
	八幡平小学校	22	
	小坂小学校	28	
大館地区	桂城小学校	34	いとく大館ショッピングセンター
	城南小学校	52	
	城西小学校	46	
	有浦小学校	64	
	釈迦内小学校	36	
	長木小学校	17	
	川口小学校	11	
	上川沿小学校	24	
	南小学校	12	
	成章小学校	10	
	花岡小学校	5	
	矢立小学校	5	
	扇田小学校	25	
	西館小学校	9	
	東館小学校	8	
	早口小学校	8	
	山瀬小学校	17	
北秋田地区	鷹巣小学校	46	いとく鷹ノ巣ショッピングセンター
	鷹巣東小学校	17	
	合川小学校	32	
	上小阿仁小学校	6	

仙台国税局長から感謝状
租税教育の推進に尽力
絵はがきコンクールと教室

長年にわたり租税教育の推進に尽力したとして、大館法人会に仙台国税局(谷口眞司局長)から感謝状が贈られ、11月14日、大館税務署の對馬亨署長から伝達されました。

国税局は租税教育推進校等表彰として特に功績のあった関係団体などに感謝状を贈っている。大館法人会は青年部会(土舘一弘部会長)が中心となって管内の小中学校で「租税教室」を開催、今年は18小学校で実施しました。また、女性部会(小畑良子部会長)は管内の小学６年生を対象とした「税に関する絵はがきコンクール」を主催し、今年で18回を数えます。

伝達式は大館市のプラザ杉の子で行われ、土舘部会長と三浦功達副部会長、小畑部会長の３人に對馬署長から感謝状などが手渡されました。本年度の納税表彰で仙台国税局長表彰を受けた東北６県法人会連合会監事の竹村雅行・大館法人会会長への表彰状伝達式も併せて行われました。

(右から)對馬署長、竹村会長、土舘部会長、小畑部会長、三浦副部会長

メモ

「税に関する絵はがきコンクール」は、平成13年度に広島県の福山法人会女性部会で始まりました。その後、全法連女連協が同21年度に試行的に取り組みを開始し、同24年度に国税庁の後援を得たことで弾みがついて、全国の女性部会へ一気に波及しました。令和６年度は全国439の部会で実施され、7574の小学校から25万1440作品もの応募がありました。

子どもたちから教室の感想が届きました

税金がないといろいろな大変なことが起こると分かりました。税金は、世界にもあるのかが気になりました。今回は税金のことを教えてくださりありがとうございました。

私がびっくりしたことが2つあります。1つ目は、税金の糸重類が50種類もあったことです。2つ目は、江戸時代にもあったことです。税金は、身近な物に使われていると分かりました。税金のことを教えてくださりありがとうございました。

税金は私達の身近で使われている事が分かりました。税金を納める事は、国民の義務として日本国憲法に定められているので私もわすれずに納めたいです。教えてくださりありがとうございました。

租税教室で税のことをいろいろ教えてくださり、ありがとうございました。消費税や所得税があるおかげで、私たちは幸せに暮らせていることを改めて知ることができました。18さいを過ぎたら、選挙に参加して社会を豊かにしようと思いました。

事業所の生産性の向上にも効果
大館税務署・對馬署長の講演会
納税デジタル化のメリットを学ぶ

大館法人会（竹村雅行会長）は12月９日、大館市のプラザ杉の子で毎年恒例の税務に関する講演会を開きました。大館税務署の對馬亨署長を講師に招き約40人の会員が「デジタルインボイス適格請求書」はじめキャッシュレス納付など申告・納税のデジタル化のメリットを学びました。

演題は「大館税務署管内の将来とデジタル技術の活用」でした。對馬署長は群馬県の舘林税務署に勤務していたころの経験として、地元銀行が人口６万に１店舗を基準に統廃合を進めているキャッシュレスとデジタル化の流れを紹介しました。そこから、税務手続きに限らず、日常の取引や経理業務のデジタル化で、単純な誤りの防止による正確性の向上、事務作業の効率化から、生産性の向上につながるとメリットを強調しました。

特に全国共通のシステムを導入した「デジタルインボイス」では、納品・請求書の仕分けから支払いの自動化で売り手、買い手の双方で大きな効果が得られるということです。手入力などアナログ処理からの切り替えに有効として、大館市の東光コンピュータ・サービスの戸田宏幸部長による紙の請求書を読み取りデータ化し、その後の仕分けや支払処理を自動化する文字認識ソフト「AI-OCR」の実演も行われました。

申告・納税のデジタル化について学んだ大館税務署の對馬署長の講演会

對馬署長の講演は第２部として懇親会でも行われ、着任５か月の大館市の感想として「数多く魅力のある街。点と点を線で結び発信を」とアドバイスをいただきました。

＼消費税の期限内納付を忘れずに。／

消費税には
申告・納付期限(※1)
があります。

申告・納付には
e-Taxが
利用できます。

個人事業者の方は
振替納税も
利用できます。
確定申告書等作成コーナーで
手軽に申告書が
作成できます。

- 基準期間の課税売上高が1,000万円を超える事業者は、消費税の確定申告が必要です(※2)。
- 期限を過ぎると延滞税がかかる場合があります。
- 確定申告・納付のほか、直前の課税期間の確定消費税額(※3)に応じて中間申告・納付が必要となります。
- 免税事業者から新たにインボイス発行事業者になられた方には、税負担や事務負担を軽減できる2割特例(※4)があります。

法人会
さらに詳しくはWEBへ
納税に関する総合案内　検索

期限内納付のための納税資金の積立てをお願いします！

納税資金の積立てには、ダイレクト納付による予納（予納ダイレクト）が便利です。利用にあたっては、事前にダイレクト納付利用届出書の提出が必要です。

直前の課税期間の確定消費税額(※3)	申告・納付回数
4,800万円超	年12回（確定申告１回、中間申告11回）
400万円超 4,800万円以下	年４回（確定申告１回、中間申告３回）
48万円超 400万円以下	年２回（確定申告１回、中間申告１回）
48万円以下	年１回（確定申告１回、中間申告不要)(※5)

※1 法人は課税期間終了の日の翌日から2ヵ月以内、個人事業者は翌年の3月31日までに消費税の申告と納付を行う必要があります。
※2 インボイス発行事業者の方は、基準期間の課税売上高にかかわらず、消費税の申告が必要です。また、基準期間の課税売上高が1,000万円以下であっても、特定期間の課税売上高が1,000万円を超える事業者は、消費税の確定申告が必要です。
※3 地方消費税を含まない年税額をいいます。
※4 基準期間の課税売上高が1,000万円を超える事業者は、2割特例を適用できません。
※5 直前の課税期間の確定消費税額が48万円以下の事業者が、「任意の中間申告書を提出する旨の届出書」を提出した場合には、自主的に中間申告・納付することができます。

国税を一時に納付することが困難な場合には、申請により猶予が認められることがありますので、納税が困難な方は、お早めに所轄の税務署（徴収担当）にご相談ください。

「全国青年のつどい山梨大会」参加レポート

大館法人会青年部会・部会長　土舘　一弘

テーマは租税教室と健康経営サミットでアイディア沸く

全国法人会連合会青年部連絡協議会主催の全国大会「全国青年のつどい」は本年度山梨県甲府市を舞台に開催され、大館法人会からは私を含め３名が参加してまいりました。

山梨県は旧国名を甲斐国（かいのくに）と呼ばれ、言わずと知れた戦国武将・武田信玄の本拠地として有名です。甲府駅南口を降りた先には壮大な信玄公の像が迎えてくれました。また果物、とくにブドウと桃の名産地として知られ、山梨へ向かう特急あずさの車窓からはなだらかな山麓とそれに連なるブドウ畑と果樹園が多く並んでいて土地柄を感じさせてくれます。一方で甲府市は盆地で周りを2,000ｍ級の山々に囲まれているため、期待していた富士山は山の上のほうにおざなりに姿を見せているくらいでした。

初日はＹＣＣ県民ホールにて租税教室プレゼンと健康経営大賞の発表。翌日は甲府記念日ホテルにて部会長サミット、午後からはアイメッセ山梨（笛吹市）にて式典・記念講演・大懇親会という日程です。今回私は部会長としてサミットに出席してまいりました。

サミットの討論テーマは主に２つ「租税教室」と「健康経営」について。まずは法人会の成り立ち、組織としての在り方を学んだあと、各テーブルごとに単会での取り組みを発表します。他の部会長さんからは「租税教室の講師が足りない」「学校の取り組み度が低い」などとなかなか活動が進まない点が見えてきました。時には他団体や大学生とのコラボもしながら取り組んでいるそうです。この話を聴いて、大館法人会はたくさんの部会員が講師として活躍していることから恵まれているなと思う反面、特定の会員に負担がかからないように講師の育成や活動の周知が必要であるとも感じました。

「租税教室」と「健康経営」について討論した部会長サミットの様子

２つ目は「健康経営」について。これも青年部の大きな活動の柱となる取組です。今後少子高齢化が進み、社会保障費の増大が社会課題となっていくことから将来的な医療費の削減に向け、健康な老後を過ごせるように「社会・企業・個人で取り組めることをやっていこう」というのがその目的です。「健康経営」という名前から会社で行う取り組みかとイメージしておりましたが、実際は個人で行ったり、青年部の活動でウォーキングキャンペーンを行ったりなど、かなり適用の範囲が広いのだなと感じました。例えば北鹿地方では現在クマ出没により、外でウォーキングや散歩がしづらい状態にある中で、市民の安全を守りつつ屋内イベントでも開催できればどうか？といろいろとアイディアが湧いてきました。今後の活動にどう生かしていくかを青年部でも協議していきたいと思います。

今回の青年のつどいでは久しぶりにお会いする方々や同じ県の同志などたくさんの人々と交流を深める良い機会となりました。甲斐の国の語源は交通の要所として、人々が「行き交う」土地と言われています。全国の同志たちから受けた刺激を地元大館北鹿地域により還元して、会員企業や青年部の活動を盛り上げていきたいと改めて思います。

魅力ある山が山ほどあります

人気ガイド･大川さんの講演会

大館法人会は11月14日、大館市のプラザ杉の子で一般市民を対象にした講演会を開きました。全国的に人気の登山ガイド・大川美紀さん(大館市)が「そこに秋田の山が山ほどあるから」と題して、自然豊かな地元の山の魅力とその楽しみ方を伝え、約80人の市民が聴講しました。

大川さんは日本山岳ガイド協会に所属し、北東北を中心に活動し全国の登山愛好家から指名を受ける人気ガイドです。多くのテレビ番組に出演したほか写真撮影や執筆活動も行っており、北鹿新聞に「登山ガイドミキティのわくわく山歩(さんぽ)」も連載しています。

講演で「秋田ってどんな面白いところがあるのと聞かれると、自然があると答えます」と切り出した大川さん。秋田の山は国内外から人気で、その理由に「高山植物を低い山で気軽に楽しめます。天然秋田杉やブナなど樹木もすばらしい。紅葉が美しく、海外のお客さまが憧れる雪景色も見られ、魅力があふれています」と森吉山や田代岳などで撮影した写真を見せながら語りました。

「山に登るようになり、秋田、大館の良さに気付き人生がとても面白くなりました」と述べ、「登山に自信のない人もあきらめないで。麓から山を見てもいい。ゴンドラで登れる山、車の中から風景を見ることができる山もあります。ぜひ山を楽しんでほしい」と呼びかけました。出没が相次ぐクマの話題にも触れ、「クマが一番先に気付くのは匂い。次が音で、次が目。まずは匂いでアピールし、鈴、笛の音を鳴らして歩いています」と自身の対策を紹介してくれました。

地元の山の魅力を語る大川さん。大勢の方が聴講しました

大館法人会女性部会が30周年

地元の魅力発信につなげよう

大館で研修会「ハチめぐり!」

大館法人会女性部会が創立30周年を迎え10月22日、記念事業として研修会「ハチめぐり！」を行いました。小畑良子部会長はじめ部会員ら９人が参加し、大館市内の忠犬ハチ公の銅像や慰霊碑を巡り、世界的にも有名な地元観光資源を再確認しました。

地元の魅力発信につなげようと企画したもので、大館商工会議所観光振興委員会が作成したリーフレット「大館どこでも博物館めぐり」で設定されているコースを回りました。

まずは大館市観光交流施設「秋田犬の里」で佐藤和浩館長の講話を聴き、ハチ公銅像の歴史や製作者について学習し、銅像や秋田犬群像を見学しました。その後、ＪＲ大館駅に移動し、発車メロディーに採用されているダックスムーンの楽曲「ハチ公物語」を聴きながら、花輪線の列車で東大館駅に向かい、駅にあるハチ公像、そこから蓮荘寺の忠犬ハチ公慰霊碑を見学しました。「望郷のハチ公像」のある秋田犬会館も訪ね資料を閲覧し、あらためて秋田犬の歴史とハチ公の魅力を学びました。参加した部会員からは「地元にいても知らなかったことも多かった」という感想がありました。小畑部会長は「ハチ公の足跡を訪ねる観光客は多いが、地元で情報を共有する機会は少ないのが現状。魅力を再確認し、気軽に楽しめる機会を増やしていきたい」と話していました。

蓮荘寺の忠犬ハチ公慰霊碑を見学する部会員

秋田犬群像のあるＪＲ大館駅前から研修会がスタート

事業承継税制の創設など求める

――5市町村へ税制改正の提言――

大館法人会は11月、大館市、鹿角市、北秋田市、小坂町、上小阿仁村の5市町村の首長へ2026年度税制改正に関する提言を行いました。

提言は全国法人会総連合が「会員の総意」として、▽税・財政改革の在り方▽経済活性化と中小企業対策▽地方の在り方▽自然災害への対応－などの課題を取りまとめたものです。「物価高や低所得者対策は消費税減税で対応するのではなく、真に支援が必要な人に限定した給付措置が望ましい」としています。

中小企業対策では、法人税率の軽減措置、投資促進税制の対象設備拡充、事業用資産を一般資産と切り離した事業承継税制の創設などを提言。地方創生について「利用状況が低調な地方拠点強化税制を見直すなど、さらなる本社機能移転の促進、地元の特性に根差した技術の活用など実効性のある改革を実行する必要がある」と指摘しました。

地震や台風など大規模な自然災害が相次ぐ中、「企業の危機管理としてBCP（事業継続計画）の策定を促すため、税財政を通じた支援を強化する必要がある」と求めました。

竹村雅行会長はじめ法人会役員が5市町村の首長へ、直接提言書を手渡しました。

▶大館市へ（左から）小笠原税制委員長、山脇副会長、石田市長、川田専務理事

▶鹿角市へ（左から）米村副会長、笹本市長、浅利副会長、小笠原税制委員長

▶北秋田市へ（左から）津谷市長、藤岡副会長、三浦理事

▶小坂町へ（左から）浅利副会長、細越町長、小笠原税制委員長

▶上小阿仁村へ（左から）小林村長、川田専務理事

あとがき

いやいやながら「ウィズ・コロナ」の生活に慣れてきたかなと思ったら、今度は「ウィズ・クマ」だそうです。外出するときはマスクをつけて、鈴を鳴らして…▼朝夕、学校では子どもたちを送り迎えする車の列ができていました。公園や校庭から元気な声が聞こえなくなったのは、冬が来る前に黒い動物が目撃されるようになったからです▼「自動ドア」は前に立っても開かないようになりました。人だけでなくクマにも便利では困ります。「手動でお願いします」の張り紙がありました▼知人は庭のカキが赤くなるのを楽しみしていましたが、今年は色づく前に倒しました。「ご近所から白い目で見られているようで」と残念がっています。身近なところでさまざま影響があるクマ騒動です▼さて、大みそかにはお寺で「除夜の鐘」が、年が明けると神社で初詣の大きな鈴が響きます。どちらも「クマよけの音」になることも願います。

「e-Tax」なら国税に関する申告や納税、申請・届出などの手続がインターネットで行えます。
国税電子申告・納税システム
e-Tax
電子申告で効率UP!
納税にはダイレクト納付が便利です!
e-Taxを利用して電子申告等をした後に、届出をした預貯金口座から、簡単な操作で即時又は期日を指定して納付することができます。
※事前にダイレクト納付利用届出書の提出が必要です。
※利用可能となるまで、オンライン提出の場合は1週間程度、書面提出の場合は1か月程度かかります。
e-Taxを利用して所得税及び復興特別所得税の申告をするとこんなメリットが！
添付書類の提出省略
還付がスピーディー
ご利用に際し条件、注意事項があります。詳しくはホームページでご確認ください。
法人会は会社経営の効率化のために e-Taxの普及を支援しています。
法人会
イータックス 検索